

自己推薦書の学修計画サンプル

3 本プログラムでの学修計画について

2 適性アピール の3) 本プログラムでどのようなことを学びたいかについて、本プログラムや各学部のホームページなどを参考に、具体的な学修計画を日本語や英語で、以下の枠内に収まるように記入してください。図や表などを使ってもかまいません。

※参考ホームページ

「本プログラム」 https://discovery.okayama-u.ac.jp/en/about_discovery/courses/

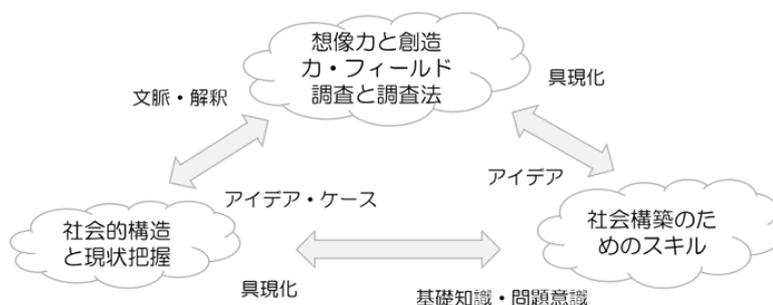
「各学部」 <https://www.okayama-u.ac.jp/tp/faculty/index.html>

「サンプル」 https://discovery.okayama-u.ac.jp/jp/admissions/discovery_application/

※ページ数は変更できません。文字数の制限はありませんが、フォントは10.5pt以上を使ってください。

不安定な将来が予測されるポストコロナの世界の中で、排他的になるのではなく、多様な他者との共存とつながりを大事にしながら、クリエイティブに生き抜くための想像力とスキルを養い、新しい社会の構築に貢献したい。

多文化環境のGDPで提供される科目を中心に学び、様々な背景を持つ学生との交流を通して未経験の世界を体験し、新しい未来像を共に考えたい。また、将来海外への移住・留学も含めた可能性を広げたいため、英語のアカデミックスキルも身につけたい。



具体的には、以下のような科目群を履修したい。

- 社会的構造と現状 : GDP 提供の経済学, 政治学, 社会学の科目を中心に履修し, ポストコロナ世界の社会・環境状況と, それを支える社会的構造を理解する。(科目例: Development Economics, Comparative Politics, Globalization and Development, Anthropology of Disaster)
- 想像力・創造力 : GDP 提供の人類学, 社会学やジェンダー研究と, 文学部提供の英文学や哲学の科目を中心に履修して, 多様な視点や世界観, 異文化間衝突や交流 (ハイブリッドやフュージョン), 様々な生活様式の模索例に触れ, 新たな可能性を想像・創造できる力を養う。(科目例: Cultural Anthropology, Anthropology of the Self, Sociological Imagination, 人文学講義 (英語圏文学), 人文学概説 (哲学))
- フィールド調査と調査法 : GDP 提供の社会科学的フィールド調査法を学び, 実践することによって, これまで想像すらしてこなかった多様な生きざまを学び, 新しい生き方, 社会構築のためのアイデアを得る。(科目例: Logic and Methods of Social Inquiry, Ethnographic Fieldwork)
- 社会構築のためのスキル : GDP 提供のマネジメント, 特にNPO マネジメントの科目を学び, 実社会において, 他者と協働して新しい社会を構築するためのスキル・知識を学ぶ。(科目例: Topics in Management, NPO Management and Social Entrepreneurship)